

# 高齢者ゴミ出しSOS



## 市長対談



ゴミ出しが困難な世帯をお手伝いする「高齢者ごみ出しSOS」が昨年9月に始まりました。ごみステーションまでごみ袋を運ぶのが大変な高齢者世帯や、子どもが小さくて指定の時間までにごみを出すのが難しい家庭などが対象で、現在約800世帯が利用。市の委託した業者が週1回自宅を訪問し、声かけをしながら収集しています。今回は、利用者と収集員、高齢者あんしんセンターの職員を迎えて、お話を伺います。

### 高齢者世帯が直面するごみ出しの苦労を解決

**市長** お年を召した方がごみ出しで苦労しているという声を、区長さんなどからたびたび伺っていました。高齢者だけの世帯も増えていきますし、足腰が弱ってくるとう重いごみ袋を提げて運ぶだけでもひと仕事です。隣近所のご好意にいつも頼るわけにもいきません。そこで通常の収集とは別に、高齢者世帯のお宅を個別に訪問して収集する仕組みができないかと考えました。収集員が一声かけながら回れば、高齢者の見守りにもつながり一石二鳥です。ありがたいことに収集業者の皆さんが快諾してくださり「高齢者ごみ出しSOS」がスタートしました。まずは岸さん、早速利用してくださっているそうですね。

**岸** はい、広報を見てすぐに申し込みました。ごみステーションがちょっと遠くて、足も悪いものですから運ぶのに苦労していました。

**市長** 分かりますよ。かさばるごみを仕分けするだけでもおつづですからね。これまではどうされてたんですか。

**岸** 子どもたちに頼んだり、近所の方に手伝ってもらったりしていましたが、つい忘れてしまうこともありまして。  
**市長** 同じ苦労をしている人は多いと思います。この制度は3業者に協力いただいています。収集員の杉田さん、どの辺りを担当されていますか。



収集員とおしゃべりで笑顔に

**杉田** 高崎地域の一部と群馬、箕郷、榛名、倉洲の約150世帯を回ります。岸さんのお宅も伺っていますよ。

**市長** そうでしたか。

**岸** いつも声をかけてくれて、出し方の相談もできるので大助かりです。燃やせないごみや資源物も一度に持って行ってもらえるのもありがたいですね。

### 収集時の声かけで見守りも

**市長** 収集員の皆さんは一軒一軒声かけもしてくださっていますね。利用者との顔なじみになりましたか。

**杉田** そうですね。天気やお孫さんのこと、たわいないおしゃべりが私も楽しみです。毎週同じ曜日に向うので、待っていてくださる人もいて。  
**市長** そういう信頼関係ができてくと安心ですね。

**杉田** いつもの場所にゴミ袋が出ていないと心配で、大きな声で呼びかけます。不在の日はわざわざ手紙を残してくれる人もいますよ。とてもやり

とときに、窓口で案内を見たいです。子育て世帯も利用できると勧めてもらっています。

**市長** ごみ出しに赤ちゃんを抱えて行ったり、まして子どもだけ家に残してというのは不安だと思っんですよ。ご出勤は早いですか。

**吉田** 通勤に時間がかかるので早くに家を出ます。この制度を利用して、朝の準備に少し余裕ができました。妻も私も、精神的にも楽になりました。

**市長** 子育て世代の方にも利用してもらって、うれしいですよ。

**吉田** うち共働きで実家も近くないので、子育ての大変さを痛感しています。こういった制度を使うことにためらいもありましたが、思い切って使わせてもらって本当に助かっています。

**市長** ぜひ活用してください。来年度には、群馬支所に誰でも利用できる託児施設を作る予定です。それから倉洲・榛名・吉井地域で好評のおとしよりぐるりんタクシーを、新たに観音山丘陵周辺の4ルートで運行する準備を進めています。これからは皆さんのご意見をお聞きしながら、日本一の福祉のまちを目指して取り組んでいきますよ。本日はありがとうございました。

対談の様子を動画で「ご覧いただけます」

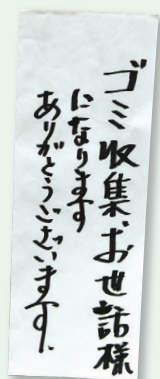


新型コロナウイルス感染症に注意しながら、参加者の皆さんの了解を得た上でマスクを外して撮影しています



**吉田 智行さん** 6歳・4歳・8か月の3児の子育て中。制度を利用し、気持ちにゆとりが生まれた  
**青木 由紀さん** 高齢者あんしんセンター・関越中央の管理者。地域の高齢者世帯の相談に乗る  
**富岡 賢治市長** 日本一の福祉のまちを目指し、全国に先駆けたさまざまな施策を進めている  
**杉田 かをるさん** 高齢者ごみ出しSOSの収集員。笑顔と真心をモットーに、利用者宅を回っている  
**岸 泰彦さん** 高齢者ごみ出しSOSを利用。収集員との会話が楽しみ。分別方法の相談も

がいがありますね。  
**市長** 私は高崎から孤独死をなくそうと、高齢者あんしん見守りシステムという仕組みを8年前に始めました。高齢者の自宅にセンサーを付け、人の動きを感じないと通報するというもので、多くの高齢者を救ってきました。ごみ出しSOSは、なじみの収集員と顔を合わせて話ができる。機械とは別の安心感です。実際に収集員の声かけで、異変に気付いた例もあるんですよ。  
**杉田** 実はこの制度の開始にあたり、何かの役に立てばと介護の講習を受けて資格を取りました。つえを使う人などを手助けするのに役立っています。  
**市長** 頭が下がります。そういった配慮はありがたいですね。市では従業員の資格取得などにかかる費用を、中小企業に補助する制度を4月から始める予定です。ぜひ利用してください。



利用者からの手紙

### 日常生活を続けるための支援人とつながる大切さ

**市長** 高齢者あんしんセンターの青木さんには、地域の高齢者のお宅を回って支援をしていただいています。気になることはありますか。

**青木** 直接相談を受けたり、地域の会議に出たりする中でも、ごみ出しが大変という話は出ます。  
**市長** この制度も紹介して下さっているそうですね。  
**青木** はい、例えば退院後に自宅に戻った人は、体力が落ちて日常生活が大変です。そういった場合にもお勧めしているんですよ。申し込みの書類を役所に届けることもあります。  
**市長** あんしんセンターは本市の「出向福祉」の要です。実践していただいているんですね。ぜひ多くの人に紹介してください。  
**青木** はい、高齢者だけの世帯は、人とのつながりが薄くなりやすいです。その意味でもこの制度はとても良いですね。たとえ少しでも話をして、人と関わることもとても大事なことです。  
**市長** そのとおりですね。ごみを収集するだけではない、気遣いや思いやりのある制度だと自負しています。

### 子育て世帯も可能なのは高崎だけ生活に少しのゆとりを

**市長** 好評をいただいているごみ出しSOSですが、実はごみ出しに困っているのはお年を召した方だけではないんですよ。この制度は赤ちゃんのいる家庭も利用できるというのが、全国でも例のない高崎ならではの取り組みです。子育て中の吉田さんは、どんなきっかけで利用されたんですか。  
**吉田** 下の子の出生届を出しに行った